

牛床への“VS34”散布で子牛の下痢症状緩和

新潟県のある牧場では平成21年10月より、牛床への“VS34”散布を始めた。臭気予防がきっかけであったが、臭いだけでなく、ハエの発生も極端に減り、子牛の下痢予防にも効果があることを確認した。

新潟県新発田市で乳肉複合の牧場経営を営んでいるある牧場では平成21年10月から、臭い対策として、牛床・バーンクリーナーへの“VS34”散布を開始。

1坪当たり500gの“VS34”を撒き始めてから、臭気は消え、ハエの発生も極端に減った。また、しばらく経ってから子牛の下痢症も止まったという。

「子牛は一度下痢をしてしまうと、約1週間成長が止まってしまう。そのロスが無いことはとても助かるし、高額な生菌剤と比べても、安くて良い」と牧場主。

牛の生産現場では下痢症の問題に無関係の人はいない。下痢症による発育遅延がもたらす経済的打撃の大きさを考えると、予防的対策の重要性は高い。



子牛の床。敷料にVS34を散布する。



VS34の発酵促進力で堆肥の質も向上した。